

## 大西選手 (CMSC青森) モントレーを制す!

### '89全日本ラリー選手権 第7戦・モントレー

ことしの全日本ラリー選手権シリーズは、予想以上の大混戦となっている。第7戦終了までで、ギャラン4勝、ブルーバード1勝、レガシィ1勝だが、ドライバーズ・ポイントでは激しい争いが続いている。CMSCメンバーでは、大西康弘選手がシリーズポイント4位につけている。

今シーズンを闘うギャランVR-4 RSには、メーカーオプションのクロスミッション搭載車が多い。全日本戦の上位入賞車は、ほとんどがクロスミッション仕様だ。しかし、フルチェンジしたセリカGT-FOURにもクロスミッション車が用意されており、今後はさらに激しい闘いが予想される。

さて、第7戦・モントレー'89を振り返ってみよう。9月16日、17日に行われた同ラリーは、12カ所のSSが設定されていた。前半の闘いは、桜井幸彦、西尾雄次郎、大西康弘といったギャラン勢と、ブルーバードの綾部美津雄などが先頭グループを形成した。

中盤のSS6、SS7では、これにブルーバードの神岡政夫、ギャランの大嶋治夫、レガシィの松本誠な



ども加わり、接戦を展開、終盤の興味は7台ほどに絞られた。

しかし、優勝候補筆頭の桜井ギャランは7CP以降にリタイアし、レガシィ勢、ブルーバード勢もマイナートラブルを抱えて伸び悩み。結局、CMSC青森のエース、大西康弘/村上一平組のギャランが最後のSS12でもベストの走りを見せ優勝した。CMSC群馬の塩野谷浩光/小林信章組はCクラス16位だった。また、綾部美津雄/森哲也組のブルーバードは再車検で失格となり、今シーズンのポイントを剥奪されてしまった。改めて、フェアな姿勢で競技に臨まなければならないことが示されたと言ってもいいだろう。



モントレーを最後にインドネシアへ転動となる村上ナビ佑へ最高の贈物をした大西選手

## Cクラスチャンピオン桜井に決定。激戦に終止符

激しいチャンピオン争いを展開した'89全日本ラリー選手権シリーズは、11月「ひえつき」で今シーズンのスケジュールを終了した。注目のCクラス・チャンピオンは桜井幸彦 (ギャランVR-4) に決定、2位の神岡政夫に97ポイント (有効得点) の差をつける圧勝だった。

全日本戦は、全10戦の得点のうち有効得点として認められるのは5戦のみ。従って、優勝回数、上位入賞回数の合計が多いエントラントがチャンピオン争いを展開する。今シーズンは終盤までCクラスのチャンピオン争いもつれ込んだが、ブルーバード勢のエース、綾部美津雄が車両規定違反で失格となった第7戦以降はギャラン勢の争いとなり、神岡の追撃も及ばなかった。



順位	ポイント	ドライバー	車 両
1	390	桜井幸彦	ギャランVR-4
2	293	神岡政夫	ブルーバード
3	245	西尾雄次郎	ギャランVR-4
4	202	大西康弘	ギャランVR-4
5	201	山内伸弥	ギャランVR-4
6	200	藤田哲也	ギャランVR-4

# CMSCメンバー、全日本ダートラで活躍中!

## 全日本ダートトライアル 選手権第4・5戦

全日本ダートトライアル選手権・AIIIクラスでは三菱ギャランVR-4が快進撃を続けている。強力なライバルは多いが、いまのところ5連勝中だ。

ここで、キラリと光るのがCMSCメンバーの活躍。CMSC岐阜の柳田正文選手がベテランらしい味のある走りを見せてポイントを取っているほか、CMSC山形の砂塚明男選手、CMSC群馬の荒井信介選手なども善戦中。ことしのダートラAIIIクラスはCMSCギャランに注目が集まっている。

'89全日本ダートトライアル選手権シリーズ第4戦は、オートスポーツランド砂川。連日の猛暑が続く北海道で行われた。コースレイアウトはストレート主体の豪快なもので、第3戦・田沢湖のアップダウンに豊かな「スキー場コース」とは打って変わったコース。ここで素晴らしい走りを見せてくれたのは柳田選手だった。WRCヨーロッパラウンドのSSを思わせる高速コースでクラス優勝、振るわなかった第3戦のうっぶんを晴らした。

AIIIクラス3位は、第3戦で2位だった砂塚選手。1本目は同着3位のタイムだったが、2本目にはコマ8秒縮めて3位を確保した。群馬の荒井選手も健闘して7位、地元・北海道は帯広の青沼達也選手は17位に入った。AIIIクラス33台のエントリーのうちほとんどがギャランだった。

続く第5戦は三重県の鈴鹿サーキット。昨年ほどではないが、今回も雨中の決戦だった。そして、ここでも柳田選手は抜群のテクニックを見せてくれた。第4戦優勝の勢いもあって、見事に今シーズン3勝目をあげる。第4戦で3位だった砂塚選手はややタイムが伸びずクラス7位、CMSC群馬の荒井信介選手は15位、CMSC香川の菅野仁司選手は30位だった。

いよいよ終盤戦に入った全日本ダートラ。第5戦までのAIIIクラス、ポイントリーダーは柳田選手。63点はタイトツのトップだ。2位は39点で砂塚選手。荒井選手は8位につけている。CMSCメンバーがAIIIクラスの優勝を争っているというのは、実に頼もしい限りだ。荒井選手は群馬三菱自動車販売でCMSC事務局の仕事を手かげながらのダートラ出場だが、メンバーをグイグイと引っ張って頑張っている。

全日本シリーズに全戦出場というのは難しいことだが、各地のCMSCでは「地元で全日本戦が来たときは必ず出る」というメンバーも多い。

とにかく、全日本戦の上位ドライバーの走りや研究したり、全日本戦の緊張を味わったり、CMSCメンバーにとっては有意義なダートラである。今シーズンもまだ闘いは残されており、終盤戦にはより多くのCMSCメンバーの出場を期待したい。



▲第4戦、5戦ともAIIIクラス優勝の柳田選手（岐阜）



▲第5戦・鈴鹿での砂塚ギャラン



▲砂塚選手（山形）は第4戦3位、第5戦7位と健闘



▲荒井選手（群馬）の鈴鹿遠征は15位



▲青沼選手（帯広）は地元の第4戦に参加し17位